

平成30年度の取組について

<H29年度の成果等（総括）>

【組織マネジメントについて】

- 取組指標の短期での検証・改善が達成指標に迫っていて成果につながっている学校が増加した
- 1～2ヶ月スパンでのPDCAの状況が全職員に周知されるとともに、改善点を全職員の協同歩調の実践で成果につながっている学校が増加した
- 詳細な取組状況把握に基づいた主要主任による指導、助言が効果的に機能し取組が組織的に実践されている学校が増加した
- 養護教諭や学校事務職員、学校主事などが学校運営に参画し組織的に取り組むことで成果をあげている学校が増加した

※年度を跨ぐ「学校評価の4点セット」についても全職員で細部に渡って共通理解することが大切である

【授業改善について】

- 略案の添削を校内研究で活かし授業改善に役立ててもらったようにした結果、ねらいの記述において、適切な「めあて、課題、まとめ、振り返り」を意識した授業が多くなった
- 児童・生徒が見通しを持って学習を進めるための取組（1時間の流れを提示・一人で考える時間の設定等）の授業が多くなった
- ホワイトボードを活用しグループでの意見をまとめ、表現したり練り合ったりするなど交流活動による深まりのある授業も見られるようになった

【校種間連携の推進について】

- 「中津市乳幼児教育振興プログラム」（中津市）の作成や幼保小連携研修会（各市教委主催）の開催を通して、保育園、幼稚園等の取組が小学校に共有できた
- すべての学校がブロック毎の校長会等を定期開催し「学校評価の4点セット」のすり合わせを行っている
- 中高連携したプロジェクトや乗り入れ授業等を通して、中学生が高校の授業の具体的なイメージを持つことができるなど進路指導の視点から有効であった

【健康・体力づくりの推進について】

- 体力向上プラン及び一校一実践の取組を通して主体的に運動に取り組む姿勢や、課題を絞り込んだ体力向上の取組が進められている。全国調査において、「運動が好き」と答えた割合は、県・全国の割合よりも高い
- 県体力調査において、小学校男女の達成率（平均が全国平均以上の項目数の割合）が向上
- すべての体育専科教員配置校において、総合判定C以上の割合は県の割合より高い。また、専科教員の実践を市内へ広げていくための取組を工夫している
- フッ化物洗口実施の充実と拡大が進んでいる

【いじめ・不登校対策の推進について】

- 各学校で、いじめ・不登校対策に係る校内対策委員会等が組織的に実施できている
- いじめの認知件数が昨年度に比べ大幅に増えた（2学期末調査でH28の約1.8倍）。認知0の学校についても大幅減少。丁寧な児童・生徒の見取りができています。（解消率は約80% H29.2学期末）
- SSWの活用について、各学校において認知が進み、活用するケースが増えた
- 地域不登校防止推進教員については、自校や市の実態に応じて活用方法を工夫している

<H30年度への方向性>

P1

【組織マネジメントの充実】

- ミドルリーダーの育成 ⇒ 全職員のベクトルのそろった主体的な取組
 - ・「チーム学校」実現プランの全職員への周知
 - ・校長の描くビジョンの全職員への周知の徹底
 - ・適切な進行管理及び成果につながる短期PDCAサイクルの定着

P2

※「学校評価の4点セット」の進捗管理表等の作成による見える化を推奨

P34

【授業改善の徹底】

- 全職員による「学力向上プラン」（授業改善5点セット）の共通理解及びPDCAサイクルの確立
- 「新大分スタンダード」に基づく授業の質の向上
 - ・評価規準を明確にした、単元プランの考え方に基づく授業の実施
 - ・個々の児童生徒の習熟の程度に応じたきめ細かな指導の充実
 - ・特別な支援を要する児童生徒一人一人に対する「個別の指導計画」の共通理解及び効果的活用
- 「中学校学力向上対策3つの提言」に基づく組織的な取組の推進
 - ・生徒の学力状況や授業評価をふまえた教科部会の充実
 - ・「生徒とともに学ぶ授業」の推進による「学びに向かう力」の育成

P5

【校種間連携の推進】

- 幼保小連携の強化
 - ・アプローチカリキュラムをふまえたスタートカリキュラムの活用及び検証・改善
 - ・スタートカリキュラムの全職員による共通理解や見直し及び近隣の小学校間のすり合わせ
- 小中連携の強化
 - ・「学校評価の4点セット」の共有及び発達の段階や系統性を意識した指導の充実
 - ・教育課程レベルでのすり合わせ：目指す子ども像（資質・能力）の共有や授業改善の方向性について
- 中高連携の強化
 - ・双方が必要としている情報の精選と共有及び中高連携の充実のための取組、推進
 - ・未来を切り拓く「学びに向かう力」の育成及び相互交流による授業改善の推進
 - ・「中高連携協議会」（中津教育事務所主催）を実施し、中高をつなぐ授業改善を促進

P6

【体力向上・健康づくりの推進】

- チーム学校としての健康・体力づくり体制整備
 - ・自校における課題（体力データ、運動意欲、生活習慣等）を全職員で共有
 - ・体力向上プランにおける取組み状況のPDCAサイクルの確立
- 運動時間の確保された授業の徹底
 - ・体育専科教員及び体育推進教員の実践の域内における一層の浸透
- 健康づくりの推進
 - ・歯と口の健康促進に向け、歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物の活用の3本柱による取組の充実
 - ・スクールヘルスアップ事業（中津市2年次）の取組の公開と好事例の周知

【いじめ・不登校対策の推進】

- チーム学校によるいじめ・不登校対策の徹底
 - ・いじめ・不登校対策に関する校内研修（学校いじめ防止基本方針、不登校対策プラン、職員各自の役割等について共通理解）の充実
 - ・SC、SSW、地域児童生徒支援コーディネーター（H29地域不登校防止推進教員）と連携強化に向けた校内分掌（教育相談コーディネーター）の位置づけの明確化
 - ・「児童生徒支援シート等」等、情報共有のためのツールを活用した教育相談体制の充実
 - ・「教育相談コーディネーター研修」（6/19、安全安心支援課主催）の実施
 - ※組織的な指導体制の充実に向けて・・・円滑な小中連携した協議、関係機関との情報交流等